進 路 だ よ り　　(2019 年度　第９号)

伊丹特別支援学校進路担当

２０１９年度も残り１ヶ月ほどとなりました。皆さんにとって、この１年はどうだったでしょうか。これまで『進路だより』を読んでいただき、本当にありがとうございました。今回で最終号となりましたので、この１年間の進路の取り組みについて振り返ってみたいと思います。

【進路先の開拓】

現状では、卒業生の進路先の実績が少なく、その進路先も定員いっぱいになってきています。現在の高等部の生徒の進路だけではなく、数年先の中学部や小学部の子どもたちの卒業を見据えて、今年度は多くの事業所を訪問してきました。生活介護と就労継続支援Ｂ型の事業所を中心に、伊丹市内はもちろん、宝塚や尼崎、豊中などの近隣の市にも範囲を拡げています。その中で事業所の方と協力関係を築くことができ、ガイドブックの作成や福祉合同説明会の開催といった新しい試みへとつながったと感じています。また、そこで得た情報を校内掲示板や進路コーナーを通じて、随時発信することもできたのではないかと思っています。今後もできるだけ多くの事業所を訪問することで、事業所の方と協力・信頼関係を作っていき、ますます【進路先の開拓】を進めていきたいと考えています。

【ガイドブック作成・福祉合同説明会開催】

ガイドブックについては、「これを見れば、進路のことはだいたいわかる。」というものを目指しました。事業所紹介のページの書式をもっと見やすいものにするとともに、毎年最新の情報に改訂していく予定です。加えて、新しい事業所のページもできる限り増やしていきたいと考えています。

福祉合同説明会については、皆さんにできる限り多くの事業所の様子を知ってもらえるように、来年度は今年度とは異なる事業所を中心に招聘する予定にしています。個別相談の時間ももう少し長くして、ゆっくり相談できるように日程等を考えていきます。保護者の皆さんや事業所の方からいただいたアンケートも参考にしながら、さらに充実したものにしていきたいと考えています。







【進路説明会】

今年度はそれぞれの段階に応じた内容にするため、学部ごとを基本に３回実施しました。毎年内容が似通っているという意見もあり、来年度は方法を刷新する予定です。説明会形式のものを１回、見学会形式のものを２回（いずれも全学部対象）の計３回を実施したいと考えています。進路説明会では、内容を全学部に共通したものとして、懇談（話し合い・情報交換）の時間を多く取り入れ、進路についてざっくばらんに語り合える場にしたいと思っています。進路見学会では、進路先（事業所）の活動内容や利用者さんの様子など、話を聞くだけではわからない部分を実際に感じていただきたいと思っています。保護者の皆さんがお子様の将来をイメージすることができて、進路がより身近に、より具体的なものに思えるような進路説明会・見学会にしたいです。

【進路だより】

今年度は９回発行しました。来年度も同じ程度の回数は発行したいと思っています。内容的には、今年度は進路の行事の様子やアンケートの結果、校内実習などの高等部の取り組み、Ｑ＆Ａ形式での進路・福祉に関する制度や用語の解説などを載せてきました。来年度はメインとして、Ｑ＆Ａ形式での進路・福祉に関する制度や用語の解説を考えています。

【進路掲示板・資料コーナー】



来年度も様々な情報を提供し、

保護者の皆様と共によりよい進路を目指して頑張ります！